

TAKE FREE ご自由にお持ちください

ボランティア Volunteer

2020.11-12  Vol.416
ちよだボランティアセンター

「誰かの力になりたい！」
をかなえる場所
—ちよだボランティアセンター—



地域のボランティア情報 ▶ P.2-3

ボランティア記者レポート「オンラインで学ぶ
手話体験講座」に参加しました。 ▶ P.3

報告: 僕がフリーコーヒーをはじめた理由 ▶ P.5



ちよだボランティアセンター
公式フェイスブック公開中



1,086名 (2020.10 現在)



「こま助プロジェクト」
Facebook ページ開設!



あなたの【はあと】が地域のチカラに変わる情報マガジン



11 住み続けられるまちづくりを
“認知症カフェ”のお手伝い
いきいきはあとカフェ

認知症当事者の方、ご家族の方々と地域のみなさんが気軽に集うスペースづくりを目指しています♪
コロナ禍でも安心してお越しいただける体制を整えています。



- 日時** 毎月第2木曜日13:30～15:30
※はあとカフェの開設時間は14:00～15:00です
- 内容** ペットボトル飲料の受け渡し、参加者名簿の記載案内、スペースの消毒、テキスト配布 等
- 場所** かがやきプラザ ひだまりホール(九段南1-6-10)
- 募集人数** 4～5名

申込み・問合せ

高齢者あんしんセンター麹町 いきいきはあとカフェ
担当：二上(ふたがみ)

TEL：03-3265-6141 E-mail：hokatu@dream.jp
URL：https://www.chiyoda-vc.com/volunteer/33144



3 すべての人に健康と福祉を
浴衣や古布で「自分だけの」
草履を作ってみませんか?

履き心地◎、古布のリメイク&洗えてエコロジー😊、足裏刺激で健康にも♪
今話題の布草履、編んでみませんか。



浴衣や古布の
寄付も募集して
います

- 日時** お問い合わせください
- 場所** かがやきプラザ 4階(九段南1-6-10)
- 参加費** 一回につき500円

申込み・問合せ

「そろそろ」会 担当：三木

TEL：03-3511-8185
E-mail：mmiki@lc3.view21.net
URL：https://www.chiyoda-vc.com/volunteer/33235



4 質の高い教育をみんなに
インドネシア・スンバ島の子どものための
一絵本の寄付/翻訳、切り貼り
ボランティア募集

おうちでOK

テレビもネットもなく、交通手段もないため、村の外の様子を知らず、勉強に意味を見出せないため貧困から抜け出せません。そのようなスンバ島の子どもたちが文字に触れ将来の展望を広げるために、ご協力をお願いします。



- 内容** 1. 絵本の寄贈
※「永岡書店」出版の世界名作絵本と日本昔ばなし絵本に限ります。
- 2. 翻訳ボランティア：日本語をインドネシア語に翻訳します。
- 3. 切り貼りボランティア：翻訳が書いてある紙を絵本に貼り付けます。
詳しくは右記のQRコードからご覧ください

ボランティア
募集概要



問合せ

地球の友と歩む会 /LIFE

TEL：03-3261-7855 E-mail：life@earth-ngo.jp
URL：http://earth-ngo.jp/



8 働きがいも経済成長も
オンラインで中高生のキャリア教育支援
中高生と大人をつなぐ「ミライドアプロジェクト」
社会人ボランティア募集

おうちでOK

オンライン会議サービス「Zoom」を使って、社会人1人と中高生1～数名のグループで対話をします。社会人から進路選択や現在の仕事に至るまでのストーリーを紹介し、その後質疑応答する流れとなります。
※参加の際は、インターネット環境およびZoomを使える端末をご準備ください。



- 日時** 2020年11月7日(土)、11月21日(土)
12月以降も開催予定です。
- 高校生の回：15:00-16:00
- 中学生の回：16:30-17:30
※各回ボランティアの定員は10名です。
- まずは活動説明会(※原則参加)にお越しください。
説明会の日程・詳細はQRコードをご覧ください。

説明会



ミライドア
プロジェクトHP



問合せ

NPO 法人アステッサン

E-mail：info@asdessin.org
URL：https://www.asdessin.org/miraidoor

SDGs
のアイコンに
ついて

「ボランティア」「講座・イベント」「助成金」の情報ページでは、SDGs(「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」)の17のアイコンで活動内容を表示します。「誰一人取り残さない」社会を目指す世界の共通目標(国連加盟193か国が2030年までに達成する目標)を千代田の地域づくりにも生かし、みなさんと「ともにできること」の輪を広げていきます。





【オンライン開催】
ボランティアで地域を支える活動説明会
 つながりをつなぐボランティアのカタチ

Zoom 使用

コロナ禍で、ボランティアのカタチも大きく変わってきました。新しい時代の中、どんなボランティア活動ができるのか。どうすれば築いたつながりを切らさないか。地域から孤立させない方法を学びます。



日時 2020年12月5日(土) 13:30 ~ 15:00
対象 千代田区在住、在勤、在学の方、区内でボランティア活動をしている方、これから活動を考えている方
定員 40名(申込順)
講師 酒井保氏(ご近所福祉クリエーター)
締切 12月4日(金)

申込み・問合せ

ちよだボランティアセンター

TEL: 03-6265-6522 FAX: 03-3265-1902
 E-mail: volunteer@chiyoda-cosw.jp
 URL: https://www.chiyoda-vc.com/



【オンライン開催】
かがやきボランティア学習会
 新型コロナ禍での地域高齢者の暮らしを知り、できることを考える

Zoom 使用

新型コロナ禍で、地域の高齢者はどのような生活を送っているか。外出自粛に伴う健康上の課題とは。関係機関や専門家からお話を聞き、現状でできる高齢者支援で何ができるかをグループワークを通して考えていきます。



日時 2020年12月19日(土) 13:30 ~ 15:00
対象 千代田区在住、在勤、在学の方、区内でボランティア活動をしている方、これから活動を考えている方
定員 30名(申込順)
講師 九段訪問看護ステーション所長 三橋 馨氏 他1名
締切 12月17日(木)まで

申込み・問合せ

ちよだボランティアセンター

TEL: 03-6265-6522 FAX: 03-3265-1902
 E-mail: volunteer@chiyoda-cosw.jp
 URL: https://www.chiyoda-vc.com/



女性限定! 福祉の Beauty 革命!
障がいのある人の身だしなみと
基本のスキンケア&メイク講座(基本コース)

youtube による動画配信

- どのような障がいのある方でも参加できます。
- インターネット動画をご覧いただける環境が必要です。
- サポートできる方の立ち合いをお願いします。

受講期限 2021年3月末 **所要時間** 約90~120分(うち動画60分)
対象 働いている、または働いている準備をしている障がいのある女性でスキンケアとメイクについて、基本から学びたい人。

定員 1名から受講可
教材費 1名につき1,540円(税込/スキンケア・メイク用品)
 ※受講料無料

講師 ハーバー研究所 美容教育トレーナー

その他

- 受講希望日の1か月前にお申し込みをお願いします。
- オンライン動画の受講のため、ご紹介するメイク方法が障がいの特性により適用できない場合がございます。(応相談)

問合せ

エイブルアート・カンパニー東京事務局

TEL: 03-5812-4622または070-5041-6043
 E-mail: office@ableart.org
 URL: http://www.ableart.org/topic/project/202007_skinicare&make.html



【オンライン開催】
日本ハビタット協会
オンライン事業報告会(第2~4回)

Zoom 使用

「日本ハビタット協会」は、世界中の人々のより良い暮らしのために、国内外で事業を実施している団体です。事業に携わったスタッフや現地協力団体によるリアルな現状報告、プロジェクトの様子が分かる最新動画を公開いたします。皆様のご参加をお待ちしております。



日時・内容 (第2回) 2020年11月21日 トイレはまちづくりの特効薬 - ケニア・スマイルトイレプロジェクト -
 (第3回) 12月12日 子どもが安心して学べるまち - ラオス子どもの生活環境改善事業 -
 (第4回) 2021年1月16日 復興の桑プロジェクト - KUWA CHOCO を通じた子どもの自立支援 -
 ※いずれも土曜日・15:00 ~ 16:00

対象 どなたでも **定員** 100名

申込み・問合せ

認定 NPO 法人 日本ハビタット協会

TEL / FAX: 03-3512-0355
 E-mail: events@habitat.or.jp URL: https://www.habitat.or.jp/



Zoom 使用

この記載がある講座につきましては、あらかじめアプリケーションのダウンロードおよび動作確認を行うとスムーズにご参加いただけます。



ヤマト福祉財団
2021年度障がい者福祉助成金

障がいのある方の幸せにつながる事業・活動に対する助成で、福祉事業所に限らずボランティア団体、サークル等を幅広く支援します。

応募期間：11月30日(月)まで(当日消印有効)

対象団体：●会議・講演会 ●ボランティア活動 ●スポーツ活動・文化活動 ●調査・研究・出版
(上記のうち1つ選択)

助成金額：総額1,000万円

助成・寄付の詳細および申請書類 URL

URL：https://www.yamato-fukushi.jp/works/subsidy.html

提出・問合せ先：公益財団法人ヤマト福祉財団 助成金事務局
〒104-0061 中央区銀座2-12-18 ヤマト銀座ビル7階
TEL：03-3248-0691 FAX：03-3542-5165

問合せフォーム：https://www.yamato-fukushi.jp/form/contact.html



令和3年度 子どもゆめ基金(一次募集)

応募期間：●郵送申請：2020年11月10日(火)消印有効
●電子申請：2020年11月24日(火)17時まで
※初めて電子申請される場合は、申請前にID申請が必要となります。

対象事業：(1)子どもの体験活動 (2)子どもの読書活動

対象団体：社団法人、財団法人、NPO法人、法人格を有しない地域のグループ・サークルなど、青少年教育に関する活動を行う民間の団体

助成金額：50万円(市町村規模)～300万円(全国規模)※目安となります

(詳細・申込みは以下のURLもしくはQRコードをご覧ください)

URL：https://yumekikin.niye.go.jp/jyosei/index.html

問合せ：独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部
〒151-0052 渋谷区代々木神園町3-1
子どもゆめ基金フリーダイヤル(無料) 0120-579-081 (平日9:00～17:45)
FAX：03-6407-7720 E-mail：yume@niye.go.jp



ボランティアで地域を支える活動説明会
「僕がフリーコーヒーをはじめた理由」
(オンライン開催)を実施しました。

講師は西川昌徳さん。自転車で世界37か国を走り、現在は国内、アジア圏を中心にコーヒーで人との繋がりを生み出す“フリーコーヒー旅”をしている自転車冒険家です。“できることなら思いがめぐる社会の方がいい”と語る西川さんの「フリーコーヒー」に込めた想いを聞きました。20～80代の方が参加され、「ボランティアは活動者が楽しみながら行うこと」、「活動の先には必ず人がいる」ということを、西川さんの明るい人柄を通してお話いただきました。参加者からは「社会が少しでもいい方向に向かうのであればボランティアをしてみたい」などのコメントをいただき、ボランティアを始めるきっかけになる講演となりました。次回は“ご近所福祉クリエイター”酒井保氏による「つながりを切らないボランティアのカたち」です。4ページをご覧ください。



ホッととニュース

フレンズビレッジ千代田で切手整理

「使用済み切手」が地域みんなの笑顔のもとになります!!
そんなボランティアセンター職員の説明を興味津々に聞く子どもたち。

使用済み切手を整理する時に、周りのボランティアさんに相談する子、切手の種類を仕分ける子、はさみを動かす子、きれいな絵を見つけてニコニコほほ笑む子…。

ある日の「フレンズビレッジ千代田」で行われた切手整理活動のシーンです。写真は活動後の進呈式でいただいた似顔絵入りのメッセージ。新しい発見からのワクワク感や今後も活動を続けたい!という想いが伝わってきて、思わずホッとしました。



{ ちよだボラセンと相談 }



ちよだボラセンでは、
こんなサポートをしています



- 活動方法やグループの運営に関するアドバイス
- 実施のための財源や場所に関する情報提供
- 広報のサポート (情報誌、ホームページ)
- 他団体・企業とのマッチング

地域の 子どもの力に なりたい



{ 活動開始 }

コロナ禍で困っている地域を支える活動を行うグループのための助成金「助け合い事業助成金」を活用し、ひとり親家庭への宅食ボックス「応援ボックスプロジェクト」を実施!



子どもも、お父さんお母さんも笑顔になりますように!



こんなサポートも受けました

地域の子どもたちを応援している団体を紹介してもらい、具体的な実施方法などを聞くことができました。

ホームページもやっています♪



ラウンドサービスでは現在、皆さまからの寄付を募集しています **詳しくはP2へ**

寄付は気軽にできる人助けだ!



ちよだボランティアセンターが 相談に応じます!

自分の力を活かしたい

地域に恩返ししたい

開いている時間を活用したい



ちよだボランティアセンター

電話: 03-6265-6522

E-mail: volunteer@chiyoda-cosw.jp

ホームページはこちら▶



—まだまだ続くwithコロナ—

「麴町DELI」のランチボックスでひと息つきませんか?

LUNCH BOX
1,000円
(税込)



目からも元気チャージ♪

産地直送の有機野菜が自慢です♪

■ CHIKYU FARM TO TABLE 麴町DELI

住 所: 東京都千代田区四番町7-16

最寄り駅: 麴町駅 (5番出口) 徒歩4分

市ヶ谷駅 徒歩6分

電 話: 080-7686-3445

営業時間: 8:30~17:00頃まで

定休日: 土、日、祝日



(テイクアウト: 9:00頃~なくなり次第 月曜日のみ11:00頃~)
(デリバリーについては5個から可。配達時間および配達地区は区内応相談)

Facebook



instagram



LINE





今回の Volunteer Spot

“誰かの力になりたい!”をかなえる場所 —ちよだボランティアセンター—



その活動を紹介します。

とつである「ラブアンドサービ

くあります。

動へとつながったケースは数多

るか、どのようにできるかを見

トを行っています。

なりたい皆さんを応援するた

ます。

一歩踏み出せないこともあり

「困っている人の力になりた

ラブアンドサービスって どんなグループ?

2020年に立ち上がったボランティアグループで、主にひとり親家庭支援をしています。社会の状況などを考慮し「今できることに手を差し伸べる」をモットーに臨機応変に活動しています。



今回の「ボラダー」



■ 小山 晴美さん(ラブアンドサービス代表)

「子どもたちに朝食を提供しサポートする“朝食支援”を始めたい。初めはそんな想いでグループを立ち上げたいと思いました」

「ボラダー」とは
ボランティアで「まち」や「地域」のために活躍するヒーロー、すなわち皆さんです。

あなたの「はあと」が地域のチカラに変わる情報マガジン

Chiyodaボラ

2020.11-12

Vol.416

TAKE FREE

ご自由にお持ちください



今回のVolunteer Spot

“誰かの力になりたい!”をかなえる場所

—ちよだボランティアセンター—

発行

社会福祉法人 千代田区社会福祉協議会 ちよだボランティアセンター

〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-10 かがやきプラザ4階
開室日・時間 月～土曜日 8:30～17:15 (※日曜・祝日・年末年始はお休み)
TEL 03-6265-6522 FAX 03-3265-1902
URL <http://www.chiyoda-vc.com/> E-mail volunteer@chiyoda-cosw.jp



ちよだボランティアセンター
ホームページはこちら



千代田でつなメール
メルマガの
登録フォームはこちら

当センターのホームページは、(株)大塚商会様の社会貢献活動の一環としてご提供いただいております。ボランティア情報マガジンは、「発送ボランティア」の皆さんのご協力で送付作業を行っています。